

特別対談

鳥取市・姫路市姉妹都市提携30周年記念

新しい交流を
めざして！

雲山姫路市助役

竹内鳥取市長

VS



雲山助役

古くからの縁

司会 まず、竹内市長から姉妹都市となった経緯を紹介してください。

竹内市長 鳥取市と姫路市が昭和四十七年にスタートさせた姉妹都市の関係が、今年で三十周年を迎え大変うれしく思います。鳥取と姫路のつながりは江戸時代の初期にさかのぼりまして、姫路の池田光政侯が鳥取に來られて、三十二万石の鳥取の町の基礎を築かれたという歴史的な事実に基づき関係が始まったと言っています。

近代に入ってから、姫路と鳥取が国道二十九号線で直接結ばれた関係で、人の行き来、経済の結びつきは随分あ

つたわけでは。そうした中で機運が高まり、姫路市と姉妹都市提携を結び、以来、たくさん交流が行われています。

司会 なるほど、鳥取市と姫路市とは大変古い時代から深い縁があったわけですね。それでは、雲山助役から姫路市を紹介してください。

雲山助役 姉妹都市提携が三十周年を迎えたことを姫路市市民とも大変喜んでおります。人口四十八万人の姫路市は、兵庫県の中で神戸市に次いで二番目に大きな都市で、近畿圏と山陰、そして中国地方への交通の要衝として栄えた地域ではなからうかと思いません。姫路城が、観光施設としても市民のシンボルとしても大きく存在しているま

ちだと思っています。

姫路鳥取線

開通に期待

司会 鳥取市と姫路市が高速道路で結ばれる予定ですが、どのようなことが期待されますか。また、最近、高速道路建設の問題が話題になっていますが、どう考えますか。

竹内市長 これからは高速道路の時代です。姫路と鳥取が高速道路で結ばれるという状況を一日も早く作らなければなりません。これについては私も本当に全精力を投入してがんばっています。先日鳥取市で、鳥取自動車道（姫鳥線）の開通に向けた沿線住民の総決起大会を開きまして、その決議文を持って首相官邸

日時 平成十四年十一月三日 午後
場所 鳥取テレビスタジオ
出演者 鳥取市長 竹内 功
姫路市助役 雲山 覚雄
司会進行 瀧田 紘子（鳥取市教育委員）